

協働

森林里山活動団体との交流

日時：平成23年10月15日（土） 10:00～15:00

講師：森林里山活動団体（人と自然の共生国際フォーラム参加）

概況



◎第5回 人と自然の共生国際フォーラム

「持続可能な社会を目指して、理念から行動へ、今変わる時～暮らし、生き方を語り直し、見つめ直す～」をテーマとして開催された第5回人と自然の共生国際フォーラムに参加し、自然と共に生きる新たな社会づくりに向けて、どのように行動すべきかを参加者と一緒に考えた。

・グループディスカッション

みちのく民俗文化研究所代表の岩崎真幸氏による現地福島からの報告のあと、2つの分科会に分かれ、グループディスカッションを行った。

分科会1「これからの生き方・社会のあり方」ファシリテーター：稲村哲也氏（愛知県立大学教授）

分科会2「新たな循環型社会を目指して」ファシリテーター：高野雅夫氏（名古屋大学准教授）

・基調講演

パネルディスカッションの前に「つながりという価値：震災後にあらためて考える」と題して、総合地球環境研究所研究推進戦略センター教授の阿部健一氏に講演いただいた。

・ポスターセッション

県内外の環境に関する活動に取り組む40の団体・施設が、パネル展示や活動紹

介を行った。また会場には、古新聞を利用したオブジェが展示され、フォーラム出演者や県民の意見を記したボードが掲示された。

・パネルディスカッション

コーディネーター：川井秀一氏（京都大学副理事・教授、NPO 法人才の木理事長）

パネリスト：阿部健一氏、稲村哲也氏、高野雅夫氏、空木マイカ氏（ラジオパーソナリティ、JICA 中部なごや地球ひろばオフィシャルサポーター）

コメンテーター：マリ クリスティーヌ氏（あいち海上の森センター名誉センター長）

東日本大震災、福島第一原発事故を機に、私たちの生活や社会のあり方を根本的なところから問い直していこうということで議論した。私たちは今まさに変わる時であり、人と自然が共生する新たな社会づくりに向け、実践につなげなければならない。

・二胡の演奏

チャン・ビン二胡演奏団による、二胡の演奏が披露された。

・フォーラム宣言、閉会式

グループディスカッション、基調講演、パネルディスカッションでの議論等を受け、「フォーラム宣言（案）」のとりまとめが行われ、コーディネーターの川井氏から参加者に提案された。この宣言は会場の参加者の温かい拍手を持って採択され、今後、持続型社会の実現に向け、参加者自らも具体的な行動を起こしていくことが約束された。